

平成 30 年度岩手県立一関第一高等学校【全日制】経営計画

校長名： 遠 藤 可 奈 子

1 現 状 把 握 及 び 将 来 展 望	(1) 学校に対するニーズ	対 象		
		生徒・保護者	地域・同窓会等	
	(2) 学校に影響を与える変化	・意欲を引き出すわかりやすい学習指導による確かな学力の育成 ・一人ひとりに寄り添う進路指導と高い進路目標の達成 ・充実した学校生活と望ましい人間関係の構築		・地域に活力をもたらす教育実践 ・地域のリーダーとなる人材育成 ・よき伝統・校風の継承・発展
		1 社会の急速な変化(情報化・グローバル化・地域の人口減少等)と併設型中高一貫校としての使命 2 次期学習指導要領の方向性と高大接続改革・大学入試制度改革		
(3) パートナーとの関係	パートナー			
	PTA	教育委員会	地域／同窓会等	
		・学校と家庭の緊密な連携 ・教育活動への支援・協力	・学校経営、教育環境整備への支援 ・授業力向上への指導・助言	・教育活動への支援・協力 ・地域を担う人材育成への協力
2 目 指 す 学 校 像 【関高アイデンティティ】	校訓・校是 高志 温故知新 切磋琢磨 不屈不撓 修文練武 遂げずばやまじ 1 高い志をもって学ぶとともに、明るく充実した学校生活の中で生きる力を育む学校 2 確かな学力と教養を身につけ、仲間とともに夢を育てて進路希望を実現する学校 3 人間性豊かな優れた人材を育てて、社会の未来に貢献する学校			
3 育 て た い 生 徒 像	1 人や社会に貢献しようとする意欲と能力、真摯に学び続ける姿勢をもつ生徒 2 豊かな人間性を有し、他者への思いやりと自己肯定感をもつ生徒 3 健全な心身と高い志をもち、進取の気性と不屈の意志で未来を切り拓く生徒			
4 今 後 の 取 組 方 針 【H30 重点目標】 ※1 主管分掌を中心に全職員で組織的に取り組む。	1 「関高アイデンティティ」の再確認と、未来を拓く研究及び実践 全・総・教・進・S・理・情※1 / 24・28※2 (1) 創立 120 周年記念事業を機に関高のアイデンティティを再確認し、地域及び社会の諸課題に取り組む次世代のリーダーを育てる教育活動を目指す。 【周年事業、「総学」「課題研究」「探究」、SSHの研究・推進】 (2) 併設型中高一貫校としてのメリットを最大限に活かす方策を研究・実践する。 【情報収集、校内体制及び教育課程等の研究・改善】 (3) 本校の魅力と特色ある教育活動を広く発信する。 【ホームページ・情報配信メール、各種通信等の充実】 2 学習指導の充実と学力向上 全・教 / 24 (1) 授業力を向上させ、考える・わかる・力がつく授業で確かな学力を育む。 【互見授業、教員研修】 【授業最優先、主体的・対話的で深い学びを導く参加型授業、中高連携】 (2) 基礎・基本を定着させ、学びに向かう意欲と確かな学力を育む。 【授業と連動した質・量とも適切な課題】 【生徒の主体的な時間管理と学習時間保障】 3 品格と活力ある関高生を育てる生徒指導 全・生・部 / 25・26 (1) 望ましい生活習慣を確立させるとともに、規範意識、思いやり、マナーのある関高生を育てる。 【整容、挨拶、欠席予防、規範意識(いじめ防止)、情報モラル指導、交通安全指導】 (2) 活力ある部活動と文武両道を実現させる。 【安全で効果的な活動、集中と時間管理】 (3) 諸活動への主体的な取り組みを促し、自他の生命と人権を大切にする心と社会貢献の姿勢を育てる。 【生徒会(委員会)活動、ボランティア活動、復興教育】			

※2 いわて県民計画第3期7
アクションとの関連
24: 児童生徒の学力向上
(含: キャリア教育)
25: 豊かな心を育む教育
26: 健やかな体を育む教育
27: 特別支援教育の充実
28: 家庭・地域との協働による学校経営の推進
(含: 目標達成型経営、防災・復興教育)

4 今後の取組方針

【H30 重点目標】 (つづき)

※1 主管分掌を中心に全職員で組織的に取り組む。

全:全体

総:総務課

教:教務課

生:生徒指導課

進:進路指導課

厚:厚生課

図:図書課

相:教育相談課

情:情報管理室

理:理数科

S:SSH

部:部活動

※2 いわて県民計画第3期7

アクションとの関連

24:児童生徒の学力向上

(含:キャリア教育)

25:豊かな心を育む教育

26:健やかな体を育む教育

27:特別支援教育の充実

28:家庭・地域との協働による

学校経営の推進

(含:目標達成型経営、防災・復興教育)

4 キャリア教育の充実と進路希望の実現 全・進 / 24

- (1) 高校3年間(及び中高6年間)の系統的なキャリア教育で進路意識を高揚する。
【「総学」、地域・関係団体等との連携、県教委事業等の活用】
- (2) 高い志をもって主体的に進路選択し、挑戦し、突破する生徒を育てる。
【進路意識を高める全体指導、一人ひとりを伸ばす個別指導、データの活用】
- (3) より高いレベルでの進路実現を可能にする進路指導體制を充実させる。
【県教委事業等の活用、教員個々や各学年等の創意工夫と学校一体の指導體制】

5 健康な心身の育成、一人ひとりに寄り添うサポート体制、環境意識の向上 全・厚・相 / 25・26・27

- (1) 心身ともに健康な生徒を育てる。
【望ましい生活習慣、健康管理、食育】
- (2) 生命と人権を尊重し、思いやりと自己肯定感をもつ生徒を育成する。
- (3) 悩みや不安をもつ生徒を早期に発見し、組織的に支援する。
【検査・アンケート実施と活用、学級学年・分掌・部顧問等と保護者との連携、心のケア】
- (4) 日常の活動を通じて環境意識を醸成する。
【清掃、エコ活動】

6 図書館機能、読書指導、ICTを活用した学習等の充実 全・図・情 / 24・25

- (1) 学校図書館、視聴覚教材、ICT等を活用した主体的な学習活動を促す。
- (2) 読書指導を強化し、図書や新聞を通じて豊かな人間性と生きる力を育成する。
【図書館及び関係分掌と学年・教科等との連携】

7 家庭や地域との連携、防災教育 全・総 / 28

- (1) 保護者との連携、PTA活動の充実により、教育活動の向上を図る。
- (2) 地域及び関係団体との連携・協力を推進する。
【PTA総会・学年PTAの充実、同窓会・地域との連携】
- (3) 生涯にわたる安全・防災意識の基礎を築く教育を行う。【防災教育】

8 教職員集団のチーム力向上、信頼される学校づくり 全・総 / 28

- (1) 地域や関係団体と連携し、信頼され、社会に開かれた学校づくりを目指す。
【適時適切な情報発信・広報活動、学校評価・学校評議員会の活用】
- (2) 教職員間のコミュニケーションとチームワークを重視し、コンプライアンス意識を高める。
【情報と意識の共有、風通しのよい職場づくり】
- (3) 全教職員が目標を共有し、チーム力とチャレンジ精神をもって組織的・計画的に取り組む。【業務改善(優先順位の共有)、働き方改革、チャレンジできる体制づくり】

平成30年度 数値による評価指標 (全日制)

■学習指導、進路指導、図書館等に関するもの

- (1) 基礎力確認調査「平均正答率」(高2):国語 70%、英語 80%、数学 85%以上
- (2) 互見授業実施・参観率:100%
- (3) 授業評価「授業の改善を希望」:10%未満
- (4) 欠席率・遅刻率:1%以下
- (5) 合格状況:最難関大・医学部医学科を含む難関大 30名、国公立大 150名(在籍の60%)以上
- (6) 図書館貸出冊数:2000冊(一人あたり約3冊平均)以上

■生徒指導、教育相談等に関するもの

- (7)「学校生活・自己点検シート」肯定的回答「自分にはよいところがある」:80%以上

■家庭や地域との連携に関するもの

- (8)生徒・保護者の緊急メール登録率:98%以上
- (9)PTA総会参加率:40%以上
- (10)学年PTA参加率:50%以上